

令和3年度ウェルネスバレー医福工連携セミナー ～ICTやデジタルを活用した2030年を見据えた介護について～

令和4年2月10日（木）15:00～17:00
イオンモール東浦 2階 イオンホール

次 第

- (1) 開会あいさつ： 東浦町長 神谷明彦
- (2) 講演Ⅰ：「ヘルスケア産業のデジタル化の動向」
経済産業省中部経済産業局 ヘルスケア産業室長 森下 優彰 氏
- (3) 講演Ⅱ：「介護現場の現状とICT・AI等デジタル活用事例」
一般社団法人日本ケアテック協会 理事
社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者 統括施設局長 宮本 隆史 氏
- (4) 講演Ⅲ：「ウェルネスバレー地区 介護施設と連携した「フレイル予兆検知」実証実験の取組」
愛知時計電機株式会社 営業本部 IoT推進部 主任 垣内 陽太 氏
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター
健康長寿テクノロジー応用研究室 室長 大高 恵莉 氏
- (5) 講演Ⅳ：「愛知県の医療・介護分野におけるロボット産業振興の取組」
愛知県 経済産業局 次世代産業室 担当課長 相澤 久志 氏
- (6) 報告：「ウェルネスバレーから医福工連携へのお誘い」
大府市 産業振興部 ウェルネスバレー推進室長 戸田 稔彦
- (7) 講評：国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典 氏
- (8) 閉会あいさつ：大府市長 岡村 秀人